

# 小野市議会だより

Ono city assembly

2012  
11  
No.154

5・6年生で完成させた  
大部小学校の  
シンボルタワー



## 第381回 9月定例会

### 一般質問

- |            |               |
|------------|---------------|
| たか 高坂純子    | かわ 河島三奈       |
| さか 純子      | しま み な        |
| じゆん こ      | やま もと ご 郎     |
| い の 井上日吉   | まつ い まさ し 史   |
| う え ひ よし   | ま つ い ま さ し 史 |
| い の 井上日吉   | ふじ わら あきら 章   |
| かわ な よし ぞう | やま なか おさ み    |
| 川名善三       | やま なか おさ み    |
| 川名善三       | やま なか おさ み    |
| やま なか おさ み | たけ うち おさむ 修   |
| 山中修己       | たけ うち おさむ 修   |
| 山中修己       |               |
| 竹内修        |               |

議会傍聴

9月定例会 63人  
〔24年度累計 177人〕

## 9月定例会—主な内容—

こんなことが決まりました	2～3
一般質問発言者	4
一般質問の内容について	5～9
平成23年度決算を認定	9
常任委員会審査報告	10
行政視察報告	11
議会の動き	12



9月  
定例会

こんなことが決まりました。

9月定例会は、8月31日から9月27日まで28日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定などを含む議案13件を原案のとおり、認定・可決しました。

### 制定された条例

小野市空き家等の適正管理に関する条例の制定について

市内における空き家等が放置され、廃屋となることを防止するとともに、廃屋として認定された空き家等に対し、地域の自治会からの要請に基づき指導、勧告、命令等の行政行為が行えること。更には、これに従わない場合の対応措置としての公表、そして、議会の議決を得て、行政代執行の強制手段に訴えることもできる旨を規定し、住民総意のもとに廃屋等の適正な処理に関する事項を定めようとするもの。

### 一部改正された条例

小野市地区計画の区域内における建

築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

北播磨総合医療センター建設予定地に定めた「市場町南山地区整備計画区域」の南側に兵庫青野原病院が移設することになり、「市場町南山地区地区整備計画区域」を変更したことにより、当該区域内に建築できる建築物に「学校」及び「障害福祉サービス事業の用に供する建築物」を追加するための改正を行うものとするもの。

更に、罰則に関する規定につき「敷地を分割した」という表現では、敷地の外形的状况に変化なく持分権のみを分割した場合を含み得ることから、明確性を担保するために「敷地面積を減少させた」という文言に改めるべきとの検察庁からの意見を受け、改正しようとするもの。

小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

電気自動車用の急速充電設備について、対象火気設備等の対象として省令において追加されたため、急速充電設備を設置する際の位置、構造及び管理に関する基準を新たに条例で定めようとするもの。

### 主な議案

新都市中央線整備事業工事請負契約の変更について

契約金額  
変更前 158,025,000円  
変更後 184,294,950円

土地の取得について

新都市中央線道路整備事業用地とするため、土地を取得しようとするもの。

所在地 小野市榊町（14筆）  
面積 22,457.34㎡  
取得金額 57,253,082円

### 補正予算関係議案

平成24年度小野市一般会計補正予算（第1号）

補正額 1,845,000千円 追加  
補正後総額 21,865,000千円

平成24年度小野市介護保険特別会計  
補正予算(第1号)

補正額 31,300千円 追加  
補正後総額 3,345,300千円

平成24年度小野市病院事業会計補正  
予算(第1号)

収益的収入  
補正額 39,000千円 追加  
補正後総額 4,150,000千円

収益的支出  
補正額 39,000千円 追加  
補正後総額 4,150,000千円

**決算関係議案**

平成23年度小野市歳入歳出決算の認  
定について

平成23年度小野市都市開発事業会計  
利益の処分及び決算の認定について

平成23年度小野市病院事業会計決算  
の認定について

平成23年度小野市水道事業会計利益  
の処分及び決算の認定について

平成23年度小野市下水道事業会計  
資本剰余金の処分及び決算の認定に  
ついて

今回の補正は、9年ぶりに200億円を超えた一般会計の当初予算に対し、更に18億円を超える大型予算を追加措置しようとするものです。

“不景気な時こそ積極投資”という方針の下、山崎断層帯による甚大な被害を想定して、防災センターの建設や救急デジタル無線の整備費用17.9億円を追加計上します。また、災害時における市民開放井戸登録制度も創設し、自助・共助・公助による総合的な危機管理体制の構築を目指します。

さらに、7・8月に実施した市政懇話会や市長への手紙、自治会長等からの要望事項を受けて、住宅耐震改修補助予算枠の拡大や緊急ため池改修事業の追加、豪雨被害に係る災害復旧事業費を計上。また、不活化ワクチンが承認されたポリオ予防接種や職員の人事異動等に伴う人件費等も措置しています。

平成24年度 一般会計9月補正予算概要

(単位:千円)

内	容	担当課	補正額	補正後
新規	防災センター整備事業	市民安全部	1,600,000	1,610,000
新規	救急デジタル無線整備事業	消防本部	190,000	190,000
新規	防災対策管理経費 災害時市民開放井戸登録制度の創設	市民安全部	7,000	7,000
新規	ポリオ予防接種経費 生ワクチンから不活化ワクチン接種への変更	健康課	18,932	20,150
新規	現年発生災害復旧事業 7月6～7日の豪雨被害 (公共土木施設10箇所、農林施設5箇所)	道路河川課 産業課	30,340	30,346
追加	住宅耐震改修事業補助金 耐震改修促進のため、補助金枠を追加 ※市政懇話会要望	まちづくり課	900	1,800
新規	県単独緊急ため池整備事業 立合池堤体改修(福住町) ※市長への手紙要望	産業課	15,500	42,700
新規	市道1741号線整備事業 黒川西土地地区画整理事業と一体整備	道路河川課	7,400	7,400
新規	市立幼稚園多子世帯保育料補助事業 3人目以降の児童(18歳未満の子ども)を育てる 世帯に対し、園児1人あたり年額6,000円 (月500円×12ヶ月)を補助	学校教育課	300	300

一般会計補正予算の主な内容



(ゴールめざして走るよ)

(一般質問は発言した議員が編集しました)

# 平成24年 9月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.ono-sigikai.jp/>

## 一般質問発言者

### 高坂純子議員

- ・議案第50号 平成24年度小野市一般会計補正予算(第1号)について
- ・今後改築が見込まれる学校教育施設について
- ・安全安心メールの周知と活用について

### 河島三奈議員

- ・議案第53号 小野市空き家等の適正管理に関する条例の制定について

### 井上日吉議員

- ・保育行政について
- ・減反政策について
- ・自然災害について
- ・夢プラン2020について
- ・いじめ等防止条例の運用について
- ・運動施設及び公園の利用の現状について

### 山本悟朗議員

- ・議案第53号 小野市空き家等の適正管理に関する条例の制定について
- ・地域の防災について

### 川名善三議員

- ・議案第50号 平成24年度小野市一般会計補正予算(第1号)について

### 松井精史議員

- ・自治体の行う発電事業について
- ・議案第53号 小野市空き家等の適正管理に関する条例の制定について
- ・有害鳥獣対策の強化について

### 山中修己議員

- ・議案第50号 平成24年度小野市一般会計補正予算(第1号)について
- ・「ゆぴか」リニューアル計画について
- ・ホテル建設計画について
- ・ジェネリック医薬品の普及について

### 藤原章議員

- ・「人・農地プラン」について
- ・生活資金の貸付制度について
- ・通学バスの変更について

### 竹内修議員

- ・学校におけるアレルギーについて
- ・脳脊髄液減少症による不登校について
- ・更なる子育て支援について



市民クラブ  
高坂純子議員

**議案第50号 平成24年度小野市一般会計補正予算(第1号)について**

**質問** 歳出、款4衛生費、項1保健衛生費、目4予防費、ポリオ予防接種経費、1,893万2,000円の具体的内容について問う。

**答弁** 当初予算では、従来の経口生ポリオワクチンを用いた集団接種として、1人あたり2回分を計上していたが、国の予防接種実施規則の改正により、9月1日以降は、不活化ポリオワクチンによる予防接種を実施する。接種費用1件につき、9,425円を過去1回も接種した事が無い乳幼児550人に対して年度内に3回接種する経費と、過去に1回生ポリオワクチンを接種した乳幼児300人に対して、不活化ポリオワクチンを年度内に2回接種する費用等である。(市当局)

**質問** 4種混合が1月に導入される動きもあり予防接種に不安を抱く家庭もあるが。

**答弁** 対象家庭への案内など周知、啓発に努めていきたい。(市当局)

**今後改築が見込まれる学校教育施設について**

**質問** 給食センター建て替えについて問う。

**答弁** 給食センターは、平成29年度以降の建て替え計画をできる限り前倒しで取りかかりたい。30年先の生徒数がどうなっているか、アレルギ1対策もふまえながら検討したい。(市長)

**安全安心メールの周知と活用について**

**質問** 近隣自治体が加入する「ひょうご防災ネット」は未加入だが、情報の共有はどのようにされるのか問う。

**答弁** より正確な情報が発信できるよう努力していく。(市当局)



改革クラブ  
河島三奈議員

**議案第53号 小野市空き家等の適正管理に関する条例の制定について**

**質問** 空き家調査に伴う判断基準について

**答弁** 調査員の目視によって空き家かどうか判断しており、主に表札の有無、水道電気メーター、雑草の手入れ、屋根の損壊等の外形状況等である。そのうち廃屋であるか否かについては、建物の倒壊、屋根瓦の落下の危険性の有無である。(市当局)

**質問** 自治会の役割について

**答弁** 行政措置は、個人的な苦情で対応するのではなく、地域住民の総意で行うことが重要で、住民の総意自治会と考えている。したがって、自治会の代表である区長は、空き家等の所有者の情報を市へ提供するとともに、対策に関して住民の意見をとりまとめ、市へ要請するという役割になっている。(市当局)

**質問** 行政代執行を明文化した理由について

**答弁** 行政代執行を個人の財産権を侵害する行為であることは十分承知しているが、地域住民の安全安心を守るという行政に課せられた問題を解消するための最終措置として明確にしたもの。また、実効性を保持するための措置として、市民、自治会、行政、議会の総意で実行してゆくという強い意思を表したものである。(市当局)

**質問** 調査を踏まえた空き家の有効活用について

**答弁** 空き家の有効活用のための基礎資料として、空き家登録制度を調査項目に入れ所有者の意向調査を実施した。今後、この集計結果を踏まえ、新たな制度創設に反映させていきたい。尚、制度創設の際は、行政、地元自治会、地元不動産業者等の業界との協力、連携が不可欠である。三者が情報を共有し、希望者には適切に対応するシステムが構築されるべきと考えており、これらを念頭に今後進めていく予定である。(市当局)

**質問** 保育行政について

**答弁** 保育所とは、「保育指針」に基づき、入所する子どもの利益を考慮し、福祉を積極的に増進するための児童福祉施設であります。

現在、市内の民間保育所では、地域に密着した特徴のある保育活動を展開されております。本市としましては現在の運営形態の中で、地域の特性や持ち味を生かした児童の健全育成のため、可能な限り支援をしてまいります。  
(市長)

**質問** 災害発生時の児童生徒の対応について

**答弁** ご指摘のとおり東日本大震災により、私たちは多くの教訓を得ました。「児童生徒が学校にいる時に大震災が発生した場合」の対応であります。初期対応に教職員が組織的にあたるとともに、保護者、地域、関係機関等と連携して児童生徒の安全確保を最優先に対応してまいります。  
(教育長)

**質問** 夢プラン2020と市庁舎建設の関連について

**答弁** 現在の市庁舎は、昭和39年の建築で、既に50年近くが経過し、いざ建て替えなければならぬ状況にあります。この度、防災センターの建設を前倒した理由は三つあり

改革クラブ

井上日吉議員

ます。一つには、国の方針により消防救急無線のデジタル化を平成28年5月までに行わなければならないこと。二つには、山崎断層地震の予測が大幅に見直され、最大震度7、避難者数約30,000人、当初予想をはるかに超える被害想定に対する備えが必要であること。三つには東日本大震災を契機に「緊急防災減災事業」で国の新たな財政支援が創設されたことです。防災センターの建設を決定するにあたり、連携すべき施設として市庁舎の建替えも検討すべき課題として関係部門へ指示を出した。  
(市長)

**質問** いじめ等防止条例の運用、教育現場での問題点について

**答弁** 問題点は、ベテラン教員から若手への技能の引き継ぎ、学校外での問題の持ち込み、親子関係の変化、ネットいじめへの対応などが挙げられますが、いじめが発見された場合は、速やかに学校内で具体的方針を立てるとともに、教育委員会、市とも連携して取り組みます。  
(教育長)



市民クラブ

山本悟朗議員

**議案第53号 小野市空き家等  
の適正管理に関する条例の制定について**

**質問** このたびの条例では、徹底した対応姿勢が窺えるが、廃屋の解体費用を援助する施策も併用されるのかを問う。

**答弁** 廃屋の解体費用は所有者が負担するものであり、資金的な援助は行いません。  
(市当局)

**質問** 家屋の建つ土地に対しては、固定資産税の減免がなされており、空き家の増加に拍車をかけているように思える。空き家の早期解体を促進する為、空き家保有者に対して、地方税として「空き家保有税」の導入を検討してみてもどうか。

**答弁** 一概に空き家といっても、さまざまな状況があり、導入するには、解決すべき課題も多く、客観的に困難であります。

本条例は「地方から国を変える」政策であり、本条例の運用の成果を見定め、適時変更も加えながら、空き家、廃屋対策の確実な成果を生み出すよう努めてまいります。  
(市長)

**地域の防災について**

**質問** 県の地域防災計画の見直しを受けて、地震被害の想定が大幅に見直され、市民、地域では防災意識が高まっている。被災時に最も大切な自助・共助の準備を積極的に推進する為の「手助け、きっかけづくり」について問う。

**答弁** 市では毎年8月に「自主防災組織リーダー研修会」を実施するとともに地域、職場での20人〜100人規模の実地訓練を年十数回実施しています。訓練回数がもつと増え、多くの市民の方々が積極的に参加いただけるよう、働きかけの方法について研究を進めてまいります。  
(市当局)



公明党  
川名善三議員

**議案第50号 平成24年度小野市一般会計補正予算(第1号)について**

**質問** 防災対策管理経費9,266千円の具体的内容について

**答弁** 大規模地震によるライフラインへの甚大な影響を考慮し、市民の方々が所有されている井戸や湧水場を市に登録。万が一の場合、水道が復旧するまでの間その井戸を一般開放していただき生活用水を確保する為の「災害時市民開放井戸等登録制度」を創設しようとするもので、その水質検査等に係る経費を計上するもの。  
(市当局)

**質問** ポリオ予防接種経費18,932千円の具体的内容について

**答弁** 本年9月1日よりポリオ予防接種に使用するワクチンが、これまでの生ポリオワクチンから不活化ポリオワクチンに変更となったことによる所要額の差を補正するもの。  
(市当局)

**再質問** 9月1日より前に自費で不活化ポリオワクチンを接種した方々への支援について

**再答弁** このワクチンは4回接種すべきものであるのですが、その回数途上にある方々については、実態調査の上、社会通念上容認できる範囲であれば、遡っての支援も検討したい。  
(市長)

**質問** 幼稚園多子世帯保育料補助事業経費300千円の具体的内容について

**答弁** 今年度よりの新規に実施するもので、幼稚園の保育料の補助を通じて子育て世帯の経済的負担軽減を図るもの。補助対象は、その園児が同一世帯の18歳未満の子どもの内、年上から数えて3人目以降になる子どもとし、その世帯に課税される市民税の所得割額が、119千円以下となっている。補助額は園児一人あたり月額500円、年額6,000円。  
(市当局)



研政クラブ  
松井精史議員

**自治体の行う発電事業について**

**質問** 近隣自治体の「ゴミ発電」の実態について

**答弁** 再生可能エネルギーの普及拡大を目的に、買取制度が始まったところですが、県下では、10市2組合16施設でゴミを燃やして、発電しています。近隣では、明石市、加古川市、高砂市が発電しています。  
(市当局)

**質問** 小野クリーンセンターでの「ごみ発電」と費用対効果について

**答弁** ごみの焼却により発生した熱を蒸気に変換し、蒸気タービン発電機により、電気を作ることとは可能である。しかし、ゴミの焼却量が70t程度と少ないことから、多額の設備費用がかかることから、当施設のごみ発電は現実的でない。  
(市当局)

**質問** 将来を見据えた再生可能エネルギーの利用について

**答弁** 小野市としては、現時点では、発電計画を考えておりませんが、新たな国のエネルギー政策を踏まえて、今後、調査、研究してまいりたい。  
(市当局)

**議案第53号 小野市空き家等の適正管理に関する条例の制定について**

**質問** 廃屋の撤去等を代執行され、その費用を納付されない時はどうするのか。

**答弁** 税の徴収、滞納処分を同じように、所有者に対し、財産の差し押さえ等を行ってまいりたい。  
(市当局)

**有害鳥獣対策の強化について**

**質問** イノシシ、川鵜、カラス、アライグマ、ヌートリア等の、有害外来鳥獣の捕獲対策について

**答弁** 近隣市町や近隣猟友会各支部と連携して、捕獲活動を実施してまいりたい。  
(市当局)



市民クラブ

山中修己議員

### 「防災センター」の具体的な内容について

**答弁** 免震構造のRC造3階建、一部鉄骨造で、延べ床面積約3,000㎡の建物と消防高機能指令台の整備事業及び救急デジタル無線整備事業で17億9千万円を計上しています。位置は、現在の消防庁舎の東側です。  
(市当局)

### ゆびかのリニューアル計画について

**答弁** 平成26年の10周年に向け、基金約2億5千万円を活用して、現行施設のリニューアルと宿泊施設の建設を検討してきた。ホテル計画に一定の進展があり、費用面も厳しく宿泊施設は断念した。  
(市当局)

### ホテル建設計画について

**質問** ホテル建設計画について、延

期から丸3年が過ぎたが、その後の経過について問う。

**答弁** 計画の相手方であるルートインジャパンから平成25年9月に着工の見通しがつきそうだと言われ、市はそれに併せて、ホテルとエクラの間にバンケットホールを整備する構想を研究している。(市当局)  
バンケットホールとは食事を伴う会合やパーティができる施設で、市内の企業からも強い要望がでていて、費用は3〜4億を見込んでいます。  
(市長)

### ジェネリック医薬品の普及について

**答弁** ジェネリック医薬品による医療費抑制効果は目標を30%とする約2千万円程度見込まれる。普及促進については毎年保証証送付時に、ジェネリック医薬品希望表示カード付の説明書を同封し、周知啓発している。また、処方箋が改善され、薬局が患者に勧め易くなっていることも、効果が見込める。  
(市当局)

### 「人・農地プラン」について

**質問** 中心営農体を決め、農地集積を図る「人・農地プラン」は、日本農業の担い手とあり方を変えようと思われる。当局は拙速を避け、地域の自主性を尊重して、慎重に進めるべきと考えるがどうか。

**答弁** このプランは、小野市のような兼業農家や小規模経営体の進むべき方向性を地域で考え、その基本となる計画を自らを立てていくものであり、集落の将来を見通し、問題や課題を掘り起し、自主的に慎重に議論をいただき決定すべきものと考えている。  
(市当局)

### 生活資金の貸付制度について

**質問** 生活困窮などの時に借りられる生活資金の貸付制度は、どのようなものがあるのか問う。

**答弁** 所得の低い方、障がい者、高



日本共産党

藤原 章議員

齢者等に対し、経済的な自立と、生活の安定のための公的融資制度として「生活福祉資金」「年金担保貸付」「母子寡婦福祉資金貸付」「交通事故被害者生活資金貸付」「奨学金」などが運用されている。  
(市当局)

### 通学バスの変更について

**質問** 10月から通学バスを路線バスからコミバスに変更するが、その詳細を問う。

**答弁** 現在、市場・河合・小野東小学校の一部の地域はすでに変更しているが、下東条小学校、小野東小学校の一部の地域は、神姫の路線バスで通学している。今回の全面変更により、バス通学者の運賃はすべて無料となり、保護者の負担は大幅に軽減されるし、市の通学補助金も削減できる。大開ルートと万勝寺ルートの朝の便は、座れない子どもがあるが、乗車定員には問題ありません。  
(市当局)



公明党  
竹内 修議員

学校におけるアレルギー

**質問** アレルギー体質によって引き起こされる発作を何とか防げないものか、周辺自治体の取り組みも含めて当局の対応を伺う。

**答弁** 現在小野市では、小、中学校でのアレルギー対象者は、全体の5%前後で推移している。

ほとんどが食物アレルギーで、原因の食物は種類が多い。西脇、三木市が除去食を提供しているが、小野市では、給食時に本人または教師により、原因食品の除去、弁当の持参などで対応している。

外部からの対応食の購入も考えられるが、多品目対応、安全性等を考えると子どもの状態を知っている保護者の弁当が、現在は、最適の方法ではないかと考えている。更に今後とも研究していく。  
(市当局)

脳脊髄液減少症による不登校

**質問** 最近になって脳脊髄液減少症が知られるようになったが、この疾病による、不登校事例はないか。

**答弁** 小野市内で不登校傾向にあるものは、主に家庭環境、人間関係や本人の問題で、疾病による不登校はないと考えている。  
(市当局)

更なる子育て支援

**質問** 市内の施設では、自分達で企画して色々な障がいを持つ小さな子ども達を運動させられる場所が少ないか。

**答弁** のびのびと気を使わずに、しかも安全に運動できる場所は少ないのが現状。

都市施設管理協会、福祉総合支援センター等を活用し、安全に配慮しながら対応していく。  
(市当局)

# 平成23年度 決算を認定

昨年度に引き続き一般会計、特別会計及び企業会計の決算について、全議員出席による決算研修会を8月27日から29日までの3日間にわたり開催し、詳細な調査を行ったうえで、9月定例会で認定しました。

## 平成23年度決算総額

# 369億円

※一般会計、特別会計及び企業会計の総額

### ◎実施した重点項目

- 「安全安心」
- 「子育て支援・教育」
- 「地域の活性化」
- 「都市基盤整備」

基金残高(預金) 80億円

※昨年度より2億3千万円増加

地方債残高(借金) 145億3千万円

※昨年度より6億9千万円増加

実質公債費比率 12.2%

※税収や交付税など自治体の収入に対する借金返済費用の割合

※早期健全化基準:25% 財政再生基準:35%

将来負担比率 負担なし(-19%)

※税収や交付税など自治体の収入に対する一般会計が将来支払うべき借金等負担の割合

※早期健全化基準:350%



# 常任委員会審査報告

## 《各常任委員会に付託された議案》

### ◎総務文教常任委員会◎

- 議案第45号 平成23年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 議案第46号 平成23年度小野市都市開発事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 議案第50号 平成24年度小野市一般会計補正予算（第1号）
- 議案第55号 小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。



### ◎民生地域常任委員会◎

- 議案第45号 平成23年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 議案第47号 平成23年度小野市病院事業会計決算の認定について
- 議案第48号 平成23年度小野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 議案第49号 平成23年度小野市下水道事業会計資本剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案第50号 平成24年度小野市一般会計補正予算（第1号）
- 議案第51号 平成24年度小野市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第52号 平成24年度小野市病院事業会計補正予算（第1号）
- 議案第53号 小野市空き家等の適正管理に関する条例の制定について
- 議案第54号 小野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第56号 新都市中央線整備事業工事請負契約の変更について
- 議案第57号 土地の取得について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。



9月定例会の提出議案審査付託について、9月25日に総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第45号から議案第57号の13議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

## 常任委員会とは？

常任委員会は、地方自治法第109条の規定に基づき条例により設置されています。地方公共団体の幅広い事務を調査するため、本議会から付託された議案や陳情等の審査をします。

# 常任委員会・議会運営委員会行政視察報告

## 民生地域常任委員会 平成24年7月25日(水)～27日(金)

### ①山形県酒田市

#### 空き家等適正管理条例について

酒田市の条例は、今年3月に制定、7月から施行されたもので、管理不全な空き家等の所有者等に対して、必要な措置について助言、指導及び勧告を行う内容になっている。そして、勧告に応じないときなどは、履行期限を定めて必要な措置を講ずるよう命令でき、なお命令に従わないときは、所有者等の住所、氏名、空き家等の所在地及び命令の内容を公表することができる。



### ②宮城県石巻市

#### 災害廃棄物について

宮城県では、東日本大震災による災害廃棄物の処理を広域処理で行っており、沿岸部を4つのブロックに分け、破碎選別施設及び仮設焼却炉を整備し処理している。

石巻ブロックは、石巻市、東松島市及び女川町の約846万トンの災害廃棄物を処理しており、視察時は1日300トン処理できる仮設焼却炉が2基稼働していた。8月中旬にはあと3基が稼働予定で、5基で1日1,500トン処理できるようになる。



### ③山形県山形市

#### 山形まるごと館紅の蔵整備事業について

山形市には「紅花」で栄えた旧家が多く残り（主なところで5軒）、今回視察した施設は中心市街地の十日町にある長谷川家の旧家を活用したもので、大きな蔵を改造した蔵座敷やレストラン・カフェ・物販等へと展開している。落ち着いた雰囲気のあるアンテナショップが出来上がっており、先人たちの残された地域の財産をうまく活用し、地域の活性化の拠点施設となっていた。



## 議会運営委員会 平成24年8月6日(月)～7日(火)

### ①三重県鳥羽市

#### 議会改革について

鳥羽市は、有人離島を4島抱えており、人口の1割が暮らしている。議会改革の中で、正副議長、各委員の任期を1年から2年に変更した点や、ソーシャルメディア（ユーストリーム、ユーチューブ、ツイッター等）を有効に活用している点は参考になった。特に、議員が質問時において、パソコンからデータ（グラフ、写真等）を議場内の傍聴者用テレビに送り、それを使って質問を行っているのは、非常に斬新で興味深く、将来の議会は、このようなシステムを活用するところが増えるのではないかと感じた。



### ②京都府亀岡市

#### 議会改革について

平成22年に議会基本条例を制定し、「議会報告会の開催」、「反問権の付与」、「一問一答方式」などに取り組んでいる。

「反問権」については、議事の整理だけでなく、議員の考え方や対案など範囲を広げているが、当局に対する議員の力量が問われるところであり、また範囲を広げる場合は、時に討論会となる懸念もあり、慎重な対応が求められる。

また、一問一答方式は、すでに多くの市議会を導入されているところであり、小野市においても現状の一括答弁方式に加え、一問一答方式も選択できるようにすることは、今後の検討事項であると感じた。



## ◎ 議会の動き ◎

### 【8月】

- 3日 小野市珠算競技大会
- 6日～8日 議会運営委員会行政視察（鳥羽市・亀岡市）
- 7日 行政視察来市（堺市）
- 10日 行政視察来市（加東市）
- 8日～12日 議員特別研修（滋賀県）
- 16日 北播磨総合医療センター企業団議員総会（三木市）
- 19日～20日 小野まつり
- 21日 議員協議会
  - 〳 民生地域常任委員会研修会
- 23日 小野加東広域事務組合議会
- 24日 議会運営委員会・市議会報編集委員会
- 27日 決算研修会（第1日）
- 28日 決算研修会（第2日）
- 29日 決算研修会（第3日）
- 30日 北播磨総合医療センター企業団議会（三木市）
- 31日 本会議（1日目）

### 【9月】

- 4日 行政視察来市（加東市）
  - 〳 小野加東環境施設事務組合臨時会
- 7日 北播政経懇話会
- 15日 中学校運動会
- 20日 本会議（第2日）
  - 〳 議会運営委員会
- 21日 本会議（第3日）
- 22日 小学校運動会
- 25日 総務文教常任委員会・民生地域常任委員会
- 26日 小野加東環境施設事務組合定例会
- 27日 本会議（第4日）
  - 〳 セレモニーホール竣工式
  - 〳 議員研修会
- 29日 幼稚園運動会

### 【10月】

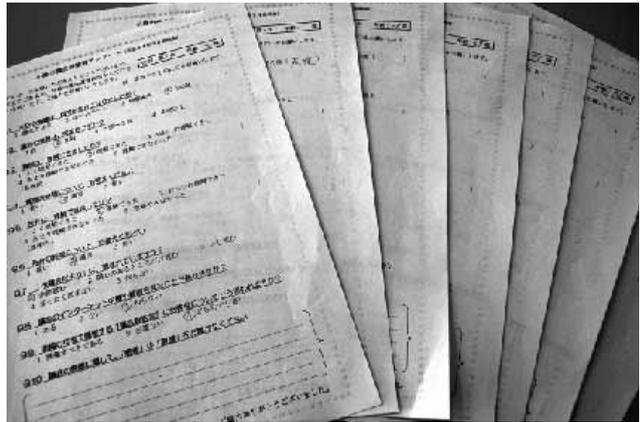
- 1日 行政視察来市（山形県寒河江市）
  - 〳 老人クラブ連合会体育祭
- 2日 北播政経懇話会（西脇市）
  - 〳 行政視察来市（茨木県笠間市）
- 7日 小野ライオンズクラブ結成50周年記念式典
  - 〳 小野市スポーツ賞表彰式
- 9日～10日 行政視察来市（福岡県添田町）
- 10日～11日 全国市議会議長会研究フォーラム（松山市）
- 11日 都市計画審議会
- 12日 民生委員推薦会
- 14日 フラワーセンターグランドオープン式典（加西市）
- 15日 播磨内陸医務事業組合議会（加東市）
- 15日～19日 市町村議会議員研修（大津市）
- 16日 北播磨子ども発達支援センター組合議会（加東市）
- 17日 ふれあい運動会
  - 〳 小野市研究発表会
- 18日 行政視察来市（東京都瑞穂町・沖縄県宜野湾市）
- 19日 北はりまビジネスフェアオープニングセレモニー
  - 〳 兵庫県市議会議長会正副議長研修会（神戸市）
- 22日 市議会報編集委員会・会派代表者会
- 23日 行政視察来市（福岡県大野城市・福岡県粕屋町）
- 24日 行政視察来市（奈良県大和高田市）
- 25日 行政視察来市（高知県四万十市）
- 26日 兵庫県知的障害者福祉大会
- 27日 小野高等学校創立110周年記念式典
  - 〳 加西市制45周年記念式典（加西市）
- 29日～30日 市町村議会議員研修（大津市）
- 31日 行政視察来市（静岡県長泉町）

## 傍聴者アンケートへのご協力 ありがとうございました!!

6月定例会と9月定例会において傍聴者のみなさまにアンケートを実施いたしました。

のべ130名の方に回答をいただき、貴重なご意見を頂戴しています。

結果については、今後の議会活動に反映していきます。内容は追って公開いたします。



## 12月 定例会 日程

- 11月30日(金) (第1日) 10時～
- 12月18日(火) (第2日) 10時～
- 12月19日(水) (第3日) 10時～
- 12月26日(水) (第4日) 13時30分～

本会議の第2日と第3日は、議員の質疑、一般質問があります。

議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長、部長が答弁します。

## 託児コーナー開設します

### 12月18日(火)・12月19日(水)

ご希望の方は、12月10日(月)までに議会事務局までお申し込みください。



## 傍聴者休憩室を開設します

定例会の2日目と3日目は、傍聴の方が休憩していただけるように議場の隣に傍聴者休憩室を開設しています。

セルフサービスのお茶も用意していますので、お気軽にご利用ください。

自宅にいながら議会の傍聴

## 市議会 LIVE中継 実施中!!

小野市議会のホームページからご覧いただけます。